JAグループ職員向け　農業経営支援セミナー

農家への経営支援で、こんな問題はありませんか？

・記帳代行はやっているが、その先（経営支援）が進まない。
・経営比率を使った経営分析をしても、農家の反応が良くない。
・経営支援を希望する農家がいない。経営データがなかなかもらえない。
・手間が掛かり過ぎて、実施件数が限られる。または継続することが難しい。
・事業成果が得られない（わかりにくい）ので経営層の理解が得られない。
・知識がないから農家と経営について話すことができない。
・農家に新たな事業提案をすることが難しい。または提案の内容が限られる。
・経営不振対策の成果が出ない。制度資金の借り換えを繰り返すだけ。
　などなど・・・

当セミナーでは、上記の実務課題に対する解決姿勢を学ぶことができます。

1. 本セミナーの特徴

○『本当に有用な知識は実践によって得られる』という考えのもと、経営支援業務の実務性と実効性を重視したセミナーカリュキュラムです。

◎支援マインド
・支援者としての基本姿勢。農家を“尊重”することの本当の意味を知る
◎思考力とスキル
・知識の暗記ではなく「なぜそうなのか」を理解することで様々なケースで応用が可能
・知っているだけではなく、“使えること（スキルの獲得）”を目指す
◎戦略的視点
・単発的な実践ではなく、組織業務としての継続性と発展性を持った業務の仕組みを考える

○セミナー終了後、受講者からは「（敷居の高かった）農家への経営支援が、すぐにでもやれると思えるようになった」という声をたくさん頂いております。

○講師は元JAグループの職員で、現在でも農家の経営支援を実施しております。そこで得られたJA職員としての実践ノウハウを上記のポイントを軸にお伝えします。

2. セミナー内容

○法人財務諸表と分析の基礎

法人の決算書を正しく読むための財務諸表の構造と着眼点、および主要な経営比率を使った経営分析手法について学びます。

○セミナーⅠ（経営分析編）※セミナーⅠ・Ⅱは、個人事業主の経営支援を想定しています。

JAの経営支援事業の基本となる「支援マインド」の他、経営分析に必要な基礎的な論理思考を学びます。また個人経営農家の実データを基にした分析演習を行います。

○セミナーⅡ（目標設定・経営分析面談編）

経営支援でよく見落とされがちな目標設定の手法を、個人農家向け（ライフプラン）の視点から学びます。また、経営分析結果を農家に報告（経営分析面談）する方法を学びます。

○セミナーⅢ（コミュニケーションスキル編）

経営分析のフィードバックや個別経営支援（コンサル）などで農家と話し合う際に有用な、コーチングスキルを基にしたコミュニケーションスキルを、ペアワーク等を交え学びます。

○セミナーⅣ（事業戦略編）

JA としてどのように継続的に農業経営支援を進めていくかについて学びます。経営支援事業の事業目的や事業効果の理解、体制作り、記帳代行・経営分析・個別経営支援（コンサル）業務の繋がりなどについて解説します。

○セミナーⅤ（コンサル実務編）

個々の経営体の個別の経営課題の解決を目的とした経営コンサルの手法として、個別調査・分析や行動支援の方法を具体的な事例などを通じて学びます。

3. セミナー説明会

初めて当研究所のセミナー受講を考えている方向けに、各セミナーの概要を説明します。また Zoom に慣れていない方は Zoom の運用テストの機会としても活用してください。時間の許す限り、受講者からの実務相談なども受け付けたいと思います。

4. 開催日程

セミナー	開催日時
セミナー説明会（無料）	4 月 19 日（金）10:30～11:30
法人財務諸表と分析の基礎 （1）決算書（財務諸表）の基本 （2）損益計算書（P/L） （3）貸借対照表（B/S） （4）剰余金処分案 （5）貸借対照表と損益計算書の関係	5 月 10 日（金）10:00～16:30
セミナーⅠ（経営分析編） （1）経営支援の心構え（支援マインド） （2）経営分析の手法（経営比率等は使いません） （3）実データを使った経営分析演習（個人経営体）	5 月 17 日（金）10:00～16:30
セミナーⅡ（目標設定・経営分析面談編）	5 月 24 日（金）10:00～16:30

(1)事業と生活の計画 (2)経営分析面談(ロールプレイ演習含む)	
セミナーⅢ(コミュニケーションスキル編) (1)コミュニケーションスキルの必要性 (2)コミュニケーションの基本スキル (3)ティーチングとコーチング	6 月 7 日(金)10:00～16:30
セミナーⅣ(事業戦略編) (1)農業経営支援の事業戦略 (2)フィードバックとデータ整備 (3)コンサル実施体制	6 月 14 日(金)10:00～16:30
セミナーⅤ(コンサル実務編) (1)支援マインド2 (2)コンサル実務	6 月 21 日(金)10:00～16:30

※セミナー説明会を含め、全て Zoom によるオンライン形式で開催します。

※各セミナーは 1 時間の昼食休憩ほか、適時休憩を取ります。

5.講　師

○農業経営支援研究所　木下　徹　(プロフィールは後段に記載)

6.受講対象

○農家の経営支援業務にかかわるJAおよび中央会・連合会職員。県普及員など。

○各セミナーは個別にお申し込みいただけますが、セミナーⅡ～Ⅴは前のセミナーの内容を前提としているため、Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ→Ⅳ→Ⅴの順番で受講することを原則とします。但し、過去に弊所の公開セミナーや、県中央会等が主催した弊所講師の研修会で、セミナーⅠ～Ⅳと同様の内容の研修会を受講している場合は、そのセミナーを抜かした受講が可能です(この場合、いつどこで実施された研修会なのかのご報告をいただきます)。

○「法人財務諸表の見方と分析の基礎」については、セミナーⅠ～Ⅳの受講歴は関係なく、いつでも受けることができます。

○過去に農業経営支援セミナーを受講した方に向けの**再受講制度**があります。再受講者は、上記の受講順に関わらず、Ⅰ～Ⅴのセミナーを自由に選択して受講することができます。

7.受講料

○法人財務諸表の見方と分析の基礎:12,000 円/人(税込 13,200 円)

○セミナーⅠ～Ⅴ:各 16,000 円/人(税込 17,600 円)

○6セミナー(Ⅰ～Ⅴ＋法人基礎)一括申込割引料金:~~92,000~~⇒87,000 円/人(税込 95,700 円)

○(再受講)法人財務諸表の見方と分析の基礎:6,000 円/人(税込 6,600 円)

○(再受講)セミナーⅠ～Ⅴ:各 8,000 円/人(税込 8,800 円)

8.お申し込みから受講まで

○農業経営支援研究所のサイト(http://sienken.net)の【公開セミナー等】⇒【2024 年前期　公開セミナー】のページからお申し込みください。恐れいりますが、電話やFAXでの申し込みは受け付けられません。

○セミナーⅠ～Ⅴの定員は 10 名。法人基礎が 15 名となります。

○各セミナーは定員となった時点で募集を打ち切らせていただきます。申し込みの締め切りは原則各セミナーの 10 日前とします。

○お申し込みを受け付けましたら、受講料の振込案内を電子メールにてご案内します。受講料の入金が確認され次第、研修テキストの送付と Zoom のミーティング ID と PW をお知らせいたしますので、必ず受講前に余裕を持ってお振込ください。※入金が間に合わない場合は連絡をください。

尚、セミナーテキスト送付後にキャンセルがあった場合、受講料はお返しできません。

○6セミナー一括申込をして、数セミナー受講した後のキャンセルの場合、正規の受講料で計算した残りを返金します。　(例)セミナーⅤのみキャンセル(テキスト送付前)の振込手数料負担前の返金額

⇒95,700-83,600(17,600*4＋13,200)＝12,100 円

○受講料返金の際の振込手数料はご負担いただきます。

○セミナー当日、定刻の 15 分前から Zoom 入室可能。

9.受講環境(説明会含む)

○パソコン

・1人1台で受講してください(1台で複数人の受講はご遠慮願います)。

・オンライン接続。Zoom が使えるもの。

・カメラ、マイク、スピーカが稼働するもの(ヘッドセットの接続を推奨します)。

※受講は必ずカメラをオンにした状態でお願いします

・会議室などの場で受講していただくことが望ましいです(周囲に受講者以外の人がいない環境を原則とします)。

※研修当日、受講者側のパソコン環境等のトラブルが発生しても、セミナーはそのまま継続させていただきます。

○研修テキスト(セミナー開催前に送付)

○筆記用具・電卓。

10.お問い合わせ先

農業経営支援研究所(木下　徹)

〒331-0052　埼玉県さいたま市西区三橋 6 丁目 1709－1　204 号室

TEL:048-677-2828　　e-mail:sienken@cf6.so-net.ne.jp　　URL(農経研):http://sienken.net

講師プロフィール　（農業経営支援研究所　代表　木下　徹）

1972 年:神奈川県生まれ。

1998 年:JA茨城中央会に入会。

2006 年:農業経営管理支援事業に取り組む。

2008 年:中央会で記帳代行業務を行う「県域事務集中方式」を企画して全国で初めて実践。

2009 年:ソリマチ㈱製のWeb農業簿記システムを全国で初めて導入する。

2012 年:JA茨城県中央会退職。農業経営支援研究所を立ち上げ現在に至る。

※ホームページアドレス:http://sienken.net　「農業経営支援研究所」で検索。

各県での研修会の内容や受講者からの声（アンケート結果）など載せております。

これまでのJAグループ等の主な支援先と業務内容

〇農業経営管理支援　経営分析等研修会講師（JA職員向け）

・JA長崎中央会（2013 年～）・JA福岡中央会（2015 年～）・JA福島中央会（2017 年～2020 年）

・JA静岡中央会（2017 年・2018 年）・JA長野中央会（2018 年）・JA熊本中央会（2014 年・2018 年）

・JA岐阜中央会（2016 年～2017 年）・JA全中（2016 年～2017 年）・JA宮城中央会（2019 年）

・JA愛知中央会（2021 年・2024 年）・JAおきなわ（2021 年～）・JA青森中央会（2021 年）

〇農業法人経営研修会講師（農業法人経営者向け）

・JA新潟中央会（2014 年～）

〇営農指導員コミュニケーション研修会講師（JA職員向け）

・JA和歌山グループ（2017 年・2018 年）・JA 新潟中央会（2023 年）

〇農業経営者育成プログラム講師・コーディネーター（農家・JA 職員向け）

・JA新潟みらい（2018 年～2020）・JAにいがた南蒲（2019 年～）・JA石川県中央会（2019 年）

〇農業経営管理支援事業体制構築コンサルティング

・JA岩手中央会（2015 年～2016 年）・JA秋田中央会（2017 年～2019 年）・JA えちご中越（2023 年～）

〇その他業務支援

・JA全中（2017 年）・ソリマチ㈱（2018 年～）

〇連載・寄稿・その他

・JA経営実務「再点検！農業経営管理支援事業のポイント」（2014 年 4 月から全 12 回）

・日本農業新聞「明日へのヒント」（2018 年 11 月 24 日から毎週土曜日。全 8 回）

・ソリマチ㈱「農業簿記オンラインセミナー」（全 6 回）

・（一社）農業利益創造研究所のHPにてデータ分析コラムを定期寄稿

これまでの農業経営支援セミナーの受講生アンケート結果

○セミナーの感想

・これまで、分析指標にとらわれ、いまいち理解しきれず分析の取り組みを進めてこれなかった実態がありました。このような視点での研修を受けたのは初めてで大変参考になりました。

・経営支援、分析のイメージが変わった。専門知識がなくてもできる気がした。

・経営支援の根本を確認することができて良かった。

・経営支援は難しいものと思われがちですが、農家との対話が基本と思えば難しい業務ではないと思いました。

・経営支援業務、またはそれにつなげるための記帳代行の内容を確認出来てよかった。

・経営支援を実践していくために必要な考え方が変わりました。これまでは知識をもっといれてという事を考えてきましたが、支援としての入り口の考え方の基礎を学ぶことができました。

・農家との信頼関係と気持ちが大切であると思いました。

・分析の流れ（大きい数字から小さい数字を見ていく）を理解できて良かったです。そのおかげで沢山ある情報の中から何をピックアップすればよいかのコツがわかりました。精度はまだまだなので、これから経験を積んでいきたいです。

・専門用語や専門的な分析手法をつかわずとも、実数でかつ比較対象を明確にするだけでも農家さんに充分伝わる内容での分析・仮説の提供ができる事がわかってとても有意義でした

・目標と目的を別物にして考えなかったためアドバイスも半端なものになっていたと思います。ライフプランを含め目標に近づくための目的を具体化することが大切だと思います。

・ロールプレイで練習出来て良かったです。実際やると難しかったです。他県の話が聞けたのも良かったです。

・目標設定の重要性が理解できました。対面の場でいかに農家から気持ちを引き出すかは難しいと感じました。

・良かったところはロープレ演習で各人へのフィードバックがあったところです。悪かったところはありません。

・農業経営支援事業の全体構成、記帳代行を実施する目的、経営分析と経営コンサルの違い等、現在検討している JA グループとしての方針策定の根幹となる部分を学ぶことができ、今後の方針策定に役立てていきたい。

・良い研修だと思います。 申込時に思っていた内容を裏切る、非常に良いお話でしたので、担当者が申込書に目を通す段階で、研修内容についてもっとアピールされても良いかもしれません。

●この他のアンケート結果やセミナーの様子は、弊所サイト（http://sienken.net）の【お知らせ/ブログ/事業報告/公開セミナー】を参照ください。